

令和4年度 国立中央青少年交流の家 教育事業

富士のさと 中学会議所

令和4年6月～12月 全8回

- ① 6/26 ② 7/16 ③ 7/17 ④ 9/4
⑤ 10/16 ⑥ 11/3 ⑦ 12/4 ⑧ 12/17



○趣旨

地域が抱えている課題を自分ごととして捉え、中学生の視点で、その解決に向けて取り組む体験活動を通して、課題解決力を養うとともに、持続可能な社会づくりに向けて貢献できる人材の育成を目指す。

○参加者

中学生 8名（2年生6名、3年生2名）

○協力（サポーター）

静岡大学未来社会デザイン機構
御殿場市教育委員会
小山町教育委員会



○事業の内容

1日目 6月26日（日） 9:30～15:30

| ねらい | 活動内容 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・意見を言いやすい雰囲気を醸成する。・自分の住んでいるまちの魅力や課題について考える。 | <ul style="list-style-type: none">・開講式・ガイダンス・野外炊事・個人ワーク『住んでいるまちの紹介』 |

探究的な学びを進めていく上で、心構えを学んだのち、チームワークを高めるために野外炊事を行った。個人ワークでは、自分の住んでいるまちの魅力や課題について考え、発表した。



2日目 7月16日（土） 9:00～17:00

| ねらい | 活動内容 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・講話やフィールドワーク、高校生の学びを身近に感じるなど、日常では得難い体験をする。・探究のプロセスを体験する。 | <ul style="list-style-type: none">・講話『地域づくりの実践』・フィールドワーク『地域の魅力を発見』・グループワーク『地域理解』 （フィールドワーク先：（有）荒井園が所有している茶畑） |

昨年度地域探究プログラムに参加した高校生の講話を聴き、地域づくりへの関心と意欲を高めた。フィールドワークでは、地域づくりに関する活動を体験し、その魅力を発見するとともに、地域が抱えている課題について考察した。



3日目 7月17日(日) 9:00~17:00

| ねらい | 活動内容 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・講話やフィールドワーク、高校生の学びを身近に感じるなど、日常では得難い体験をする。 ・探究のプロセスを体験する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク『課題解決の基礎』 ・フィールドワーク『地域課題の探究』 ・発表 (フィールドワーク先：(有) 荒井園が所有している茶畑) |

前日のフィールドワークにおいて感じた地域の課題の改善策(仮説)についてアイデアを出し合い、グループ全員で共有した。フィールドワークでは、仮説を検証するためのインタビュー等を行い、疑問点を確認したり、より有効な改善策を探ったりした。



4日目 9月4日(日) 9:00~16:00

| ねらい | 活動内容 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークを通して、地域課題の解決方法について学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク『地域課題の探究』 ・グループワーク『地域課題の解決方法を考える』 (フィールドワーク先：NPO法人みらい建設部が管理している放置竹林) |

フィールドワークを行い、地域づくりに関する活動を体験し、その魅力を発見するとともに、地域が抱えている課題について考察した。グループワークでは、フィールドワーク先の課題の解決方法についてアイデアを出し合い、グループ全員で共有した。



5日目 10月16日(日) 9:00~16:00

| ねらい | 活動内容 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて理解を深める。 ・SDGs ミッションウォークラリーを体験し、その魅力や課題について考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs ミッションウォークラリーの体験 ・グループワーク『SDGs ミッションウォークラリーの魅力や課題について考える』 |

当交流の家で開発中の活動プログラムである、SDGs ミッションウォークラリーを体験した。体験後に、その魅力や課題について考え、グループ全員で共有した。午後からは、今までの中学会議所での学びをもとに、新たにSDGs ミッションウォークラリーのお話カードなどを製作した。



6日目 11月3日(木・祝) 9:00~16:00

| ねらい | 活動内容 |
|-------------------|---|
| ・実践活動に向けての準備を進める。 | ・グループ活動『SDGs ミッションウォークラリーの製作』 ・実践活動に向けた打ち合わせ |

実践活動で来場者に提供する SDGs ミッションウォークラリーの製作を行った。また、実践活動当日の流れを確認し、役割分担をするとともに、実践活動に必要な物品等の準備を行った。



7日目 12月4日(日) 9:00~16:00

| ねらい | 活動内容 |
|-----------------------------|-------------------------|
| ・実践活動を通して仮説を検証し、成果や課題をまとめる。 | ・実践活動 ・グループ活動『発表の準備』 |

当交流の家の教育事業である「クラフトマーケット~Xmas ファミリーday~」で、来場者に SDGs ミッションウォークラリーを提供した。実践活動実施後には、アンケート結果や参加者の取り組みの様子を参考に仮説の検証を行い、成果や課題についてまとめた。



・実践活動に向けて作成した、SDGs ミッションウォークラリーで使用するお話カード(一部)



8日目 12月17日(土) 9:00~16:00

| ねらい | 活動内容 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・聞き手に伝わる発表の仕方を学ぶ。・中学会議所での学びを発表する。 | <ul style="list-style-type: none">・グループ活動『発表に向けての準備』・発表会・閉講式 |

午前は発表会に向けて、構成や伝え方などプレゼンの基本について学び、準備を行った。午後は発表を行うとともに、協力者からフィードバックをもらうことで、これまでの学びをさらに深める機会とした。



【事業後アンケート 一部抜粋】

- ・地域課題解決に向けて、どのような活動をしたらいいか、どのような工夫をするといいかなど学べた。
- ・地域について考える楽しさを知った。
- ・新しいことを考える力や、それらを実践する力がついた。
- ・意見を発表したり、自分の考えをうまく伝えられたりするようになった。
- ・SDGsに詳しくなった。
- ・とても楽しかった。
- ・貴重な体験をすることができて、視野が広がった。

○成果と課題

成果

- ・たくさんのサポーターの協力を得て、フィールドワークやグループワークなど多様な体験活動の機会を設けることができた。また、様々な人々との出会いや交流が、参加者の学びを一層深めることに繋がった。
- ・事業の中で実践活動まで実施したことにより、探究の学びのサイクルを体験することができた。
- ・発表会を教育委員会や中学校の先生方に見学していただいたことにより、当施設の探究活動への取り組みを知ってもらうことができ、今後連携していく必要性を理解していただく良い機会となった。
- ・ともに学び合った参加者同士、さらには地域づくりの実践家との間に繋がりを作ることができ、この後の活動に向けて協力し合える良い関係を築くことができた。
- ・学びを支える側（スタッフや高校生ファシリテーターなど）も、論理的思考を促すプログラムを考えたり、ファシリテーションスキルについて学んだりする機会となった。

課題

- ・グループワークなどを通して考えを深めたり、質の高い学びを保障したりするには、ある程度の参加人数の確保が必要であると感じた。また、体験活動を通しての学びについては、欠席者に欠席分の学びをフォローすることが難しいので、学校行事との兼ね合いを考えながら、参加者が多く参加できる日程を事前に調整する必要がある。
- ・高校でさらに探究活動をしたい参加者は「地域探究プログラム（高校生対象の探究学習事業）」に参加したり、中学会議所にファシリテーターとして参加したりするなど、事業における中高連携を図っていき、継続的に学べる環境の整備を進めていきたい。